

第4回 e-learning コンテンツ作成 WG 議事録（確定）

日 時 : 令和5年9月20日(水) 10:00~11:10
形 式 : Web 会議 (Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 薬学教育協議会事務局 (ホスト会場)
出 席 者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. e-learning コンテンツ作成に向けた意見交換 (docs 参照)

木下委員長より、9.11 開催の Kick off Meeting の席上で本委員会の第一弾として、特にイントロ部分である「Society5.0 をはじめとする未来社会のイメージ」のコンテンツを検討いただく方向となり、本日は、このコンテンツにより今後の作業の進め方について意見交換する方向である旨の説明があった。

また、docs に、細谷先生、原口先生、出口先生よりイントロ部分について詳細に記載いただいていることの報告があり、引き続き担当する3名の先生方に説明いただくこととなった。

細谷先生、原口先生、出口先生よりイントロダクションの構成として検討した

1. Society 5.0 の医療分野について、薬学・薬剤師の関わりを共有する
2. 臨床現場の薬剤師（薬局薬剤師・病院薬剤師）の未来像を示す
3. 薬学教育（コアカリ）の関わり方、および e-learning コンテンツ各論の概略を示す

について、その目的や考え方の詳細な説明がなされた。

説明後の主な意見の提示

- ・地域包括ケアや過疎化にデジタル技術利用の薬剤師サービスも考えられたら良いのではないかな。
- ・イントロ部分にも AI について簡単に述べたらどうか。
- ・世の中の DX を紹介するコンテンツと集団や個別の情報を選択してコミュニケーションをとる薬剤師の育成をするコンテンツのストーリーか。
- ・モノからヒトは大切で全体の流れは必要ではないか。
- ・イントロ部分にモノ→ヒトのスライドを入れてはどうか。
- ・ロボット化と AI を混同してはダメだ。対物業務の部分はロボット化、対人業務では AI を使った薬剤師支援という考えはどうか。
- ・ロボットと AI、対物化と対人化の流れを上手く提示すればよろしいのではないかな。

1) 素材提示後の e-learning コンテンツの作成手順について

(株)カビネットより、提示されたイントロ部分を素材として e-learning コンテンツ作成することについて説明があった。

○7 編のタイトルがどの位のボリュームか。○素材は使えるか使えないか。○全体の頁デザインをどうするか。○10 頁を編成替えるか等々を確認した後、修正し編成する○承認されれば、作成することとなる。○コンテンツはタイトルを 10 編で 100 頁、1 タイトル最大 20 頁だ。

説明後の主な意見の提示

- ・均等では、イントロを充実させるべきと考えるがどうか。
- ・未来化を充実させる方向なので単純に 10 頁を三分割するのか。
- ・イントロ部分で全体 15 頁～20 頁あれば良いのではないか。

2)各項目で想定している頁数について

木下委員長より各担当項目について、どの位の頁数を想定しているのか質問がなされ、各担当委員より、現状で想定している担当部分の頁数について意見の提示があった。

各委員から想定されている頁数等の提示を受け、木下委員長より各項目の頁数から全体では問題がないと判断できること。最終部分は参考資料であり、1 頁程度で集約できると考えていること等も踏まえ、イントロ部分是不変的であるべきと考え、20 頁程度を想定して作成いただいてよろしいかとの発言があり、了承された。

3)㈱ホサカ、㈱カビネットへ docs による情報共有について

木下委員長より e-learning コンテンツ作成を進めていくため、㈱ホサカ、㈱カビネットに docs を利用し、情報共有を図りたいとの発言があり、了承された。

4)パイロット版の提示について

木下委員長より出来上がったパイロット版を委員で共有したい旨、㈱カビネットに申し入れがなされ、クラウドに情報を共有できるサイト作成を検討いただくこととなった。

5)本事業の次年度以降における継続について

木下委員長より、受講者ごとにアカウントが必要と考えてはいるが、次年度以降もこの事業を継続させることが課題であるとの発言があり、意見交換がなされた。

説明後の主な意見の提示

- ・履歴データを把握することは必要ではないか。
- ・外部から悪戯されたら問題ではないか。
- ・予算をいただくことはどうか。
- ・関連する上部委員会等で検討は必要ではないか。
- ・管理運営問題については、継続の課題としてはいかがか。

6)メーリングリスト作成について

木下委員長より、メーリングリスト作成のためメールアドレスの情報を共有することとしたい旨発言があり、了承された。

2. 医学教育誌総説論文（新設された資質・能力「情報・科学技術を活かす能力」）について
（資料1）

木下委員長より、これは医学教育誌 2023 で酒井委員より紹介をいただいた医学のコアカリを担当した WG の先生方の論文であるとのことで参考としていただきたいとのことであった。

3. その他

木下委員長より医学の e-learning コンテンツ作成チームがコンテンツの利用規約を作成していることの報告があった。

利用規約は、刊行されている書物・論文・資料や引用等の二次利用や著作権の問題について、協議会でも作成する必要があるので、今後、参考とする方向であるとのことであった。

別記 1 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 4 回（9 月 20 日開催）

構成員氏名	所 属	出欠席	備 考 欄
木下 淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野	Web	
今井 志乃ぶ	昭和大学薬学部門薬剤疫学部門	Web	
近藤 悠希	熊本大学大学院薬学教育部臨床薬理学分野	欠席	
酒井 隆全	名城大学薬学部医薬品情報学研究室	Web	
出口 芳春	帝京大学薬学部薬物動態学研究室	Web	
原口 亨	公益社団法人日本薬剤師会	Web	
細谷 治	日本赤十字社医療センター薬剤部	Web	
松野 純男	近畿大学薬学部医療薬学科	Web	
本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会	Web	
オブザーバー	文部科学省高等教育局医学教育課		
e-learning コンテンツ作成業者 ○株式会社ホサカ ○株式会社カビネット			

別記 2 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 4 回（9 月 20 日開催）

<配付資料>

資料 1 医学教育誌創設論文（新設された資質・能力「科学技術を活かす能力」）